

## 令和 4 年度学校関係者評価報告書

大阪市立城東幼稚園 学校協議会

## 1 総括についての評価

・資料やアンケート結果から、安全教育は指導方法や啓発方法などを工夫していること、教職員が幼児一人一人を丁寧にしていること、身近な自然環境の充実、保健指導の工夫、未就園児活動や地域、小学校との連携も進めていることがよく分かり、成果につながっている。

## 令和 4 年度目標ごとの評価

## 年度目標：【安全・安心な教育環境の推進】

- ①避難訓練を積み重ね子どもの防災意識を高める。令和 4 年度保護者アンケートで「幼稚園は、避難訓練や安全教育などを定期的に行っている」の項目について「そう思う（どちらかと言えばそう思う）」と回答する割合を 75%以上にする。
- ②きまりやルールを守って、子どもが安全な幼稚園生活を送れるようにする。令和 4 年度保護者アンケートで「幼稚園はきまりやルールを守って安全に過ごせるよう環境や指導法を工夫している」の項目について「そう思う（どちらかと言えばそう思う）」と回答する割合を 75%以上にする。
- ③一人一人を大切にした教育を行う。令和 4 年度保護者アンケートで「幼稚園は幼児理解を深め一人一人を大切にした教育を行っている」という項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する割合を 75%以上にする。

## 評価 A 目標を上回って達成した

- ①保護者のアンケートで肯定的な回答する割合が 100%であり、達成状況の評価は妥当である。  
計画的に訓練を行い、次年度への改善点も明確であり今後も継続してほしい。
- ②保護者のアンケートで肯定的な回答する割合が 100%であり、達成状況の評価は妥当である。  
怪我に関するデータを取り、分析し、指導に生かしている。継続してほしい。
- ③保護者のアンケートで肯定的な回答する割合が 100%であり、達成状況の評価は妥当である。  
一人一人の子どもを大切にした教育を行っていることが分かる。継続してほしい。

## 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①就学前教育カリキュラムを活用し、保育の充実を図る。令和 4 年度保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが主体的に活動し、知・徳・体がバランスよく総合的に育まれるよう、教育的意図をもった働きかけを工夫している」の項目について「そう思う（どちらかと言えばそう思う）」と回答する割合を 75%以上にする。
- ②身近な自然を充実させ、子どもの興味関心を育む。令和 4 年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが見たり触れたりし、身近な自然に興味関心をもてるような環境を工夫している」のいう項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する割合を 75%以上にする
- ③基本的生活習慣の意識を高める。令和 4 年度の保護者アンケートで「幼稚園は子どもが基本的な生活習慣を意識することができるよう、指導法を工夫している」の項目について「そう思う（どちらかといえばそう思う）」と回答する割合を 75%以上にする。

## 評価 A 目標を上回って達成した

- ①保護者アンケートで肯定的な回答する割合が 98%であった。達成状況の評価は妥当である。  
次年度も継続してほしい。
- ②保護者アンケートで肯定的な回答する割合が 100%であった。達成状況の評価は妥当である。

身近な自然に関心をもてるよう、園庭の環境を工夫しており、子どもが気付いたり考えたりしながら楽しく遊ぶことができていた。継続してほしい。

③保護者アンケートで、肯定的な回答する割合が100%であった。達成状況の評価は妥当である。

これまでは家庭教育として行っていたことを、今は幼稚園が担っていると感じた。今後も家庭と連携し継続してほしい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

①教職員の資質向上を図る。令和4年度教職員アンケートで、「研修や園内研究会を通して、自分の資質向上を図ることができた」と回答する割合を75%以上にする。

②地域に開かれた幼稚園づくりをめざす。令和4年度保護者アンケートで、「幼稚園は家庭や地域との連携を大切にしている」と回答する割合を75%以上にする。

評価 B 目標どおりに達成した

①教職員アンケートで肯定的な回答する割合が100%であった。達成状況の評価は妥当である。

②保護者アンケートで肯定的な回答する割合が100%であった。達成状況の評価は妥当である。

次年度は、園児と児童の交流が深められることができると推測される。教職員同士の交流も深め、さらなる幼小連携を考えていく。

### 3 今後の学校運営についての意見

安全教育の取組は、保護者の意識向上につながるような啓発方法を考え、地域や保護者と連携した取組になるよう工夫してほしい。

未就園児活動に参加し、たくさんの人に幼稚園教育を知ってもらい、園児数の増加につながるような取り組みを継続してほしい。